

 JWRC 水道ホットニュース	<p>(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp</p>
---	---

水事業体パートナーシップ (WOPs) などについて (その2)

5. 国際開発金融機関等における WOPs に関する活動

(訳注1) 以下に、国際開発金融機関等における WOPs に関する活動の代表的事例として、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、イスラム開発銀行、米州開発銀行の取組み等の概要を示す。

(訳注2) “Water Operator” は「水事業体」、「Water Utility」は「水道事業体」と仮訳しているので、留意願いたい。

(参考) 国際開発金融機関とは？

<http://siteresources.worldbank.org/EXTABOUTUS/Resources/MultiDevBanks-J.pdf>

5-1 アジア開発銀行 (ADB : Asian Development Bank) 関係

(1) 水道事業体ネットワークの形成 (Formation of Water Utilities Network)

現在、WOPs プログラムを積極的に実施しているのは、次の3水道事業体ネットワークである。

- ①東南アジア水道事業体ネットワーク (SEAWUN : South East Asian Water Utilities Network)
SEAWUN は、WOPs に先立ち、2002年8月に設立された。しかし、そのプログラムは、現在、WOPs の支援を得て実施されており、メンバーは78事業体である。
- ②南アジア水道事業体ネットワーク (SAWUN : South Asian Water Utilities Network)
SAWUN は、バングラディッシュ、ブータン、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン及びスリランカからの23メンバーをもって、2007年4月に設立された。
- ③中央アジア・南コーカサス水道事業体連合 (CASCWUA : Central Asia and South Caucasus Water Utilities Association)
CASCWUA は、アルメニア、アゼルバイジャン、グルジア、カザフスタン、キルギス共和国、タジキスタン及びウズベキスタンからの13メンバーをもって、2007年11月に設立された。

(2) 絶え間ない改善とベンチマーキング (CIB : Continuous Improvement and benchmarking)

「絶え間ない改善とベンチマーキング (CIB)」は、上下水道事業体の主要な業務実績データの収集、分析及び比較が含まれる。

現在まで、CIB ワークショップは各々の水道事業体ネットワークで実施されており、約100名の水道事業体職員がセッションに参加している。

(3) 2水道事業体の組み合わせ (Twinning of Water Utilities)

「RETA6396 (アジアにおける水事業体パートナーシップ支援 (日本特別基金による融資))」に基づ

き、ADB は 10 の「Twin」を予定している。現在までに、以下の 8 つの連携が進められている。

受入事業体 (Recipient Twin)

[SEAWUN 関係]

ダバオ市水道区 (フィリピン)
ダナン水道会社 (ベトナム)
メトロセブ水道区 (フィリピン)
ビンドン上下水道会社 (ベトナム)

[SAWUN 関係]

ダッカ上下水道公社 (バングラディシュ)
ティンパー都市公社 (ブータン)
全国上下水道庁 (スリランカ)
カラチ上下水道公社 (パキスタン)

専門家派遣事業体 (Expert Twin)

Ranhill Utilities BHD (マレーシア)
Hai Phong One Member Co.Ltd. (ベトナム)
City West Water (オーストラリア)
プノンペン水道公社 (カンボジア)
K-Water (韓国)
マレ上下水道会社 (モルディブ)
ジャムシェドプール公益サービス会社 (インド)
Puncak Niaga (M) Sdn Bhd. (マレーシア)

(4) トレーニングワークショップ (Training Workshops)

水道事業体の技術的能力を改善するため、WOPs は事業体運営の特定の課題に焦点を当てたトレーニングプログラムを計画・実施することとしている。トピックスの候補としては、

- * 無収水 (NRW) 管理
 - * 料金設定と規制
 - * アセットマネジメント
 - * 費用回収
 - * メータ計量、料金請求、料金徴収
- が挙げられる。

第 1 回トレーニングワークショップは、2008 年 5 月に ADB 本部で開催され、40 の SAWUN 及び SEAWUN のメンバー事業体から約 70 名の代表者が参加した。また、2008 年 11 月には、マレーシア・サバ州で「無収水ワークショップ」が開催された。一方、2008 年 10 月には、ラオス人民民主共和国ルアンプラバン (Lang Prabang) において「第 1 回 SEAWUN 指導者フォーラム」が開催された。

(出典)<http://www.adb.org/water/wop/wop.asp>

5-2 アフリカ開発銀行 (AfDB : African Development Bank) 関係

(訳注) 以下に紹介する「WOP Africa」については、「IWA 東南アフリカ地域事務所 (IWA-ESAR)」から「WOP Africa プログラムコーディネーター」の募集が 2009 年 1 月に行われており、当該募集要項に示されている内容をもとに、その概要を紹介する。

- * 役職名 : WOP Africa プログラムコーディネーター
- * 勤務地 : ヨハネスブルグ、南アフリカ
- * 採用期間 : 3 年間 (更新あり)、2009 年 7 月 1 日から

(1) WOP Africa プログラム

「WOP Africa」は国連が始めたプロジェクトであり、上下水道事業体間の能力開発 (Capacity Building) を基礎としている。「アフリカ開発銀行 (AfDB)」及び「IWA 東南アフリカ地域事務所」による「WOP Africa」は、ミレニアム開発目標の共通のゴールとして、アフリカにおいて上下水道サ

ービスを満遍なく普及させるために、アフリカの上下水道事業体の努力に対して支援しようとするものである。

(2) WOP Africa プログラムに向けた学習・能力開発の優先テーマ

- ① マネジメント情報システム (Management Information Systems)
- ② 貧困層に対するサービス (Service to the Poor)
- ③ 上下水道サービス/ミレニアム開発目標ロードマップ (WSS/MDGs Roadmap)
- ④ 人材開発及び能力開発 (Human Resources Development & Capacity Building)
- ⑤ インフラ開発及びアセットマネジメント (Infrastructure Development and Asset Management)

(出典) http://www.afwa-hq.org/doc_pdf/AppelCandidaturesCoordinateurEn.pdf

(訳注) 「WOP Africa」の取組みの詳細は、以下の(参考)を参照されたい。なお、「WOP Africa プログラムコーディネーター」には45名の応募があり、スイス「開発途上国水・衛生部 (Department of Water and Sanitation in Developing Countries (Sandec))」の上級プログラムオフィサーである「Dr KONE DOULAYE」が選ばれ、2009年10月1日に着任とのことである。

(参考) http://www.worldwaterweek.org/documents/WWW_PDF/2009/monday/K21/partnership/AfWA_EASAR_WOP_AFRICAN_PRESENTATION.pdf
<http://www.eawag.ch/about/personen/homepages/kone/index>

5-3 イスラム開発銀行 (IsDB : Islamic Development Bank) 関係

(訳注) 2008年11月、「イスラム開発銀行(IsDB)」と「国連・水と衛生に関する諮問委員会(UNSGAB)」は、アラブ地域の水危機への取組みに関する共同声明(JOINT STATEMENT)を出した。この中には、アラブ地域におけるWOPsプログラムなどが盛り込まれており、以下にその概要(抜粋)を紹介する。

(参考) イスラム開発銀行について

<http://www.jbic.go.jp/ja/about/press/2007/0925-01/attach.pdf>

世界の人口の5%、そして、再生可能な水資源の1%に過ぎないアラブ諸国は、世界で最も乾燥した地域である。今日の一人当たり平均年間利用可能水量は1960年のわずか3分の1であり、2050年までに「絶対的水不足の閾値 (absolute water scarcity threshold)」である年間一人当たり500 m³を少し上回るだけの、550 m³まで減少するものと見込まれている。さらに、2006年現在、50百万人もの人々が安全な飲料水を継続的に利用できず、また、約97百万人が十分な衛生設備を利用できないと推計されている。

アラブ地域の水と衛生における主な懸案事項は、水と衛生サービスの向上と拡大の資金調達コストの増大、水・衛生セクターの全般的な業務遂行の改善などである。

このような多くの課題を認識し、長期目標のための青写真である「イスラム開発銀行グループビジョン2020」においては、「水と衛生」が主要テーマの一つとして選ばれた。

これまで、イスラム開発銀行は56の加盟国に対し、水セクターにおいて25億米ドル以上の支援を行っている。

イスラム開発銀行は、制度的な能力開発の面でも積極的であり、例えば、カイロを本拠地とした「ア

ラブ水会議 (Arab Water Council)」、アブダビを本拠地とした「アラブ水アカデミー (Arab Water Academy)」の設立メンバーとなっている。しかし、このようなあらゆる努力にもかかわらず、アラブ地域の水事情は驚くほど悪化が続いている。

国連「水と衛生に関する諮問委員会」の「橋本アクションプラン (HAP)」は、6つの活動分野 (水事業体パートナーシップ、資金調達、衛生、モニタリングと報告、統合水資源管理、水と災害) を提案している。

国連「水と衛生に関する諮問委員会 (UNSGAB)」とイスラム開発銀行は、水と衛生に関する目標及び目的に共通性があることに鑑み、両者は以下の分野において協力することに合意している。

(1) イスラム開発銀行 (IsDB) は、「アラブ諸国水道事業体連合 (ACWUA)」で知られるところの、アラブ地域において新たに設立された WOPs プログラムとともに、パートナーシップの機会を得ることとしている。そのようにしながら、イスラム開発銀行は、ACWUA とその活動をどのように支援するか、「グローバル水事業体パートナーシップアライアンス (GWOPA)」の助言と指導を求めることとなろう。

(2) IsDB は、新たな資金調達プログラム及びメカニズムを通じて、水と衛生に対する資金調達金額の増加に努めることとし、UNSGAB は IsDB を支援することとする。

(3) UNSGAB 財政チームは、水・衛生セクターにおけるサブ・ソブリン融資に関するコンセプトノート又はプロポーザルを IsDB に提出するものとする。

(4) IsDB はアラブ地域における能力開発活動に対する支援を継続するとともに、新たに設立された「アラブ水アカデミー」に対する支援を拡大することとする。同様に、IsDB は「アラブ水会議」に対する支援を継続することとする。

(5) ~ (10) 略

(出典) <http://www.unsgab.org/dialogue/middleeast/Jointstatement-IsDB.pdf>

(参考) アラブ諸国水道事業体連合 (ACWUA : Arab Countries Water Utilities Association)
<http://www.acwua.org/>

5-4 米州開発銀行 (IDB : Inter-American Development Bank) 関係

(訳注) 2007年11月、「米州開発銀行 (IDB)」と「国連・水と衛生に関する諮問委員会 (UNSGAB)」は、ラテンアメリカ・カリブ海地域 (LAC地域) の水と衛生への取組みに関する共同声明 (JOINT STATEMENT) を出した。この中には、同地域におけるWOPsプログラムなどが盛り込まれており、以下にその概要 (抜粋) を紹介する。

安全な飲料水と衛生的な設備を利用できないことは世界的な懸案事項である。ラテンアメリカ・カリブ海地域 (LAC 地域) では、主に農村部や貧困層で約 85 百万の人々が安全な飲料水を利用することができず、また、約 110 百万の人々は衛生的な設備を利用することができない。LAC 地域の水資源を効率的に管理し、未普及又は不十分な給水である人々が利用可能とし、安全で持続可能な衛生設備に投資することなどが、水・衛生セクターにおける重要な課題である。

水と衛生における主な懸案事項には、

* (下水処理を含む) 水と衛生のための修繕及び拡張プロジェクトの資金調達

* 水道・衛生事業体の構造改革及び国際的に優れた業務遂行を可能とする能力開発への投資が含まれる。

これらの懸案事項に対処するため、2007年、IDBは「水・衛生イニシアティブ (Water and Sanitation Initiative)」を承認した。

(注) 水・衛生イニシアティブ

<http://www.iadb.org/topics/water/waterinitiative/>

国連「水と衛生に関する諮問委員会」の「橋本アクションプラン (HAP)」は、6つの活動分野(水事業体パートナーシップ、資金調達、衛生、モニタリングと報告、統合水資源管理、水と災害)を提案している。

世界で最古で最大の地域銀行である IDB は、LAC 地域の水セクターのための多数国間融資の主な資金源である。

国連「水と衛生に関する諮問委員会 (UNSGAB)」と IDB は、水と衛生に関する目標及び目的に共通性があることに鑑み、両者は以下の分野において協力することに合意している。

- (1) IDB は、LAC 地域において、橋本アクションプランによって提案された WOPs プログラムの促進に努めるものとする。IDB は、財政的及び技術的支援をもって水道・衛生事業体ネットワークを促進することにより、そうするものとする。UNSGAB は、これらのネットワークの財源の利用について IDB を支援するものとする。
- (2) IDB は「水・衛生イニシアティブ」を通じて水と衛生に対する開発支援の量を増加させることとし、UNSGAB は内部及び外部の資金利用について IDB を支援するものとする。
- (3) IDB は、LAC 地域における持続可能な衛生のための能力開発に関する特別のプログラムを展開するため、UN-HABITAT とともに取り組むよう努めるものとする。UNSGAB は、知識及び良好な実践事例を利用できるよう IDB を支援するものとする。
- (4) IDB は、地域の水資源の持続可能な管理・開発における最善の方法として、統合水資源管理 (IWRM) の促進を継続するものとする。
- (5) IDB は、同銀行が財政的に貢献した資本プロジェクトを通じて水又は衛生設備を利用可能となった人数を毎年報告するものとする。
- (6) 略

(出典) <http://www.unsgab.org/dialogue/americas/jointstatement-idb.pdf>

(参考) <http://www.iadb.org/topics/water/waterinitiative/partnership.cfm?lang=en>

(文責) センター常務理事兼技監 安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー(第58号以降)は、下記アドレスでご覧になれます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h21.html>